



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月15日

上場会社名 株式会社ココナラ 上場取引所 東
コード番号 4176 URL <https://coconala.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 鈴木 歩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 松本 成一郎 TEL 03(6712)7771
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	1,398	28.4	97	—	100	—	84	—
2023年8月期第1四半期	1,089	—	△220	—	△267	—	△191	—

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 75百万円 (—%) 2023年8月期第1四半期 △255百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	3.53	3.46
2023年8月期第1四半期	△8.11	—

(注) 2023年8月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	5,690	3,633	35.8
2023年8月期	5,232	3,125	37.2

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 2,034百万円 2023年8月期 1,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,848	25.0	10	—	24	—	1	—	0.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	23,858,700株	2023年8月期	23,839,700株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	8,600株	2023年8月期	4,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	23,838,885株	2023年8月期1Q	23,586,154株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社の事業環境は、行動制限の解除により新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことで、在宅時間が短縮されオンラインでの取引全体の成長率が鈍化するなど、先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社におきましては「ココナラスキルマーケット」の多言語化対応・海外決済対応を通じて海外の購入ユーザー向けにサービス提供を開始いたしました。また、「ココナラプロ」、「ココナラコンサル」、「ココナラアシスト」といった新規事業の立ち上げを行い、当社が目指すココナラ経済圏の拡大を通じて、当社サービスの利用を推進していきます。

この結果、当第1四半期連結累計期間の流通高は3,809,140千円（前年同四半期比6.8%増）、売上高は1,398,684千円（前年同四半期比28.4%増）、営業利益は97,102千円（前年同四半期は220,658千円の営業損失）、経常利益は100,803千円（前年同四半期は267,044千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84,177千円（前年同四半期は191,318千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「スキルマーケット」としていた報告セグメントの名称を「マーケットプレイス」に、「法律相談」としていた報告セグメントの名称を「メディア」に、「テックエージェント」としていた報告セグメントの名称を「エージェント」にそれぞれ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

① マーケットプレイス

「マーケットプレイス」においては、2023年10月に「ココナラスキルマーケット」の海外市場展開として多言語化対応・海外決済対応を通じて海外の個人向けにサービス提供を開始いたしました。

この結果、売上高は1,051,462千円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント利益は130,159千円（前年同四半期は224,231千円のセグメント損失）となりました。

② メディア

「メディア」においては、ユーザーと弁護士のマッチング精度・量ともに順調であることから有料登録弁護士数が拡大しており、これを背景として弁護士からの広告収入である固定の利用料も成長しております。

この結果、売上高は153,904千円（前年同四半期比29.1%増）、セグメント利益は28,850千円（前年同四半期比143.0%増）となりました。

③ エージェント

「エージェント」においては、2023年7月にポートエンジニアリング株式会社の株式を取得し、同社を完全子会社化することで、当社グループの当該領域の事業拡大を早期に実現し、企業価値を最大化していきます。また、2023年10月に優秀なアシスタントがビジネスをサポートする月額制サービス「ココナラアシスト」といった新規事業の立ち上げを行い、当社が目指すココナラ経済圏の拡大を通じて、当社サービスの利用を推進していきます。

この結果、売上高は193,317千円、セグメント損失は50,357千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末より457,383千円増加し、5,690,298千円となりました。これは主に、投資有価証券が214,100千円増加、現金及び預金が171,702千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末より50,349千円減少し、2,056,601千円となりました。これは主に、預り金が31,743千円減少、その他流動負債が29,225千円減少、前受金が22,786千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末より507,732千円増加し、3,633,696千円となりました。これは主に、非支配株主持分が386,324千円増加、利益剰余金が84,197千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年10月13日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,993,732	3,165,434
売掛金	475,700	425,664
前払費用	116,686	172,419
その他	104,545	102,608
流動資産合計	3,690,665	3,866,127
固定資産		
有形固定資産		
建物	171,161	171,161
工具、器具及び備品	98,034	98,147
減価償却累計額	△84,575	△91,316
有形固定資産合計	184,620	177,992
無形固定資産		
ソフトウェア	8,466	7,913
のれん	144,721	141,381
顧客関連資産	55,100	52,250
無形固定資産合計	208,287	201,545
投資その他の資産		
投資有価証券	893,174	1,107,274
長期前払費用	10,515	7,140
差入保証金	241,507	326,073
その他	4,143	4,143
投資その他の資産合計	1,149,341	1,444,632
固定資産合計	1,542,249	1,824,170
資産合計	5,232,914	5,690,298

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,974	57,772
未払金	287,635	289,474
未払費用	49,009	45,712
未払法人税等	38,927	34,551
前受金	542,078	564,864
預り金	1,001,005	969,262
ポイント引当金	3,127	2,747
クーポン引当金	7,567	6,816
その他	97,172	67,946
流動負債合計	2,089,497	2,039,148
固定負債		
繰延税金負債	17,453	17,453
固定負債合計	17,453	17,453
負債合計	2,106,951	2,056,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,238,686	1,240,790
資本剰余金	2,384,341	2,386,445
利益剰余金	△1,677,039	△1,592,842
株主資本合計	1,945,989	2,034,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	110
その他の包括利益累計額合計	112	110
新株予約権	110,999	144,006
非支配株主持分	1,068,862	1,455,186
純資産合計	3,125,963	3,633,696
負債純資産合計	5,232,914	5,690,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	1,089,175	1,398,684
売上原価	58,076	220,383
売上総利益	1,031,099	1,178,301
販売費及び一般管理費	1,251,757	1,081,198
営業利益又は営業損失(△)	△220,658	97,102
営業外収益		
受取利息	0	1
受取還付金	3,012	5,124
その他	150	220
営業外収益合計	3,163	5,346
営業外費用		
支払利息	49	49
投資有価証券評価損	49,500	—
株式報酬費用消滅損	—	1,595
営業外費用合計	49,549	1,645
経常利益又は経常損失(△)	△267,044	100,803
特別利益		
新株予約権戻入益	12,500	—
特別利益合計	12,500	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△254,544	100,803
法人税等、住民税及び事業税	572	24,951
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△255,117	75,851
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△63,799	△8,325
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△191,318	84,177

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2022年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年9月1日 至 2023年11月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△255,117	75,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	△352
その他の包括利益合計	80	△352
四半期包括利益	△255,037	75,499
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△191,317	84,175
非支配株主に係る四半期包括利益	△63,719	△8,675

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

従来「営業収益」としていた表示科目を「売上高」に、「営業費用」としていた表示科目を「販売費及び一般管理費」に変更しております。これは、前連結会計年度にてポートエンジニアリング株式会社（現株式会社コナラエージェント）を取得したことによりエージェント事業の重要性が増したため、「売上高」への科目変更がより適切に当社の収益の実態を示す科目であると判断したためであります。

また、当第1四半期連結会計期間にて実施した組織再編を含むビジネスポートフォリオの見直しを契機に、当社グループの原価管理の方法を見直ししております。

これに伴い、売上高と対応する費用の関係を見直し、当社の段階損益を含む経営成績をより適切に表示するべく、従来、販売費及び一般管理費として計上していたシステム費用の一部を売上原価へ表示区分を変更することとしました。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、販売費及び一般管理費に表示していた58,076千円を売上原価に組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2022年11月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計 (注2)
	マーケット プレイス	メディア	エージェン ト	計		
売上高						
一時点で移転される財	969,930	—	—	969,930	—	969,930
一定の期間にわたり移転 される財	—	119,245	—	119,245	—	119,245
顧客との契約から生じる 収益	969,930	119,245	—	1,089,175	—	1,089,175
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への営業収益	969,930	119,245	—	1,089,175	—	1,089,175
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	969,930	119,245	—	1,089,175	—	1,089,175
セグメント利益又は損失 (△)	△224,231	11,871	—	△212,360	△8,297	△220,658

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおり
ます。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年9月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計 (注2)
	マーケット プレイス	メディア	エージェン ト	計		
売上高						
一時点で移転される財	1,051,462	—	—	1,051,462	—	1,051,462
一定の期間にわたり移転 される財	—	153,904	193,317	347,221	—	347,221
顧客との契約から生じる 収益	1,051,462	153,904	193,317	1,398,684	—	1,398,684
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への営業収益	1,051,462	153,904	193,317	1,398,684	—	1,398,684
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,051,462	153,904	193,317	1,398,684	—	1,398,684
セグメント利益又は損失 (△)	130,159	28,850	△50,357	108,652	△11,549	97,102

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおり
ます。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

当第1四半期連結会計期間より、従来「スキルマーケット」としていた報告セグメントの名称を「マーケットプレイス」に、「法律相談」としていた報告セグメントの名称を「メディア」に、「テックエージェン
ト」としていた報告セグメントの名称を「エージェン」にそれぞれ変更しております。当該変更は名称変
更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

（重要な後発事象）

（連結子会社の吸収合併）

当社は、2023年10月13日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社ココナラリーガルコネクトを吸収合併することを決議し、2023年12月1日付で吸収合併を行いました。

1. 取引の概要

（1）結合当事企業の名称及び当該事業の内容

（吸収合併存続会社）

名称：株式会社ココナラ

事業内容：スキルマーケット「ココナラ」の運営・開発、法人向けスキルマーケット「ココナラビジネス」の運営・開発

（吸収合併消滅会社）

名称：株式会社ココナラリーガルコネクト

事業内容：弁護士相談サイト「ココナラ法律相談」の運営・開発

（2）企業結合日

2023年12月1日

（3）企業結合の法的形式

株式会社ココナラリーガルコネクトを消滅会社、

株式会社ココナラを存続会社とする吸収合併

（4）結合後企業の名称

株式会社ココナラ

（5）その他取引の概要に関する事項

本合併は、今後の経営戦略、経営資源の効率化、効率的な事業運営等について総合的に検討した結果、各プロダクトを一体でユーザーに提供することを目的としております。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。